

令和5年第11回天草市教育委員会臨時会会議録

1 期 日 令和5年8月31日(木) 午後2時

2 場 所 天草市役所 庁議室

3 本会議に出席した教育委員等

| | | | |
|-------|---------|-----|---------|
| 教 育 長 | 石 井 二三男 | 委 員 | 木 下 えり子 |
| 委 員 | 行 合 八恵子 | 委 員 | 吉 森 啓 司 |
| 委 員 | 池 崎 教 授 | 委 員 | 平 道 千 春 |

4 本会議に出席した事務局職員

| | | | |
|-------------|---------|---------------|---------|
| 教 育 部 長 | 平 野 貢 司 | 教育総務課長 | 本 多 俊 隆 |
| 恐竜の島博物館推進室長 | 古 川 龍 司 | 恐竜の島博物館推進室長補佐 | 沢 村 亮 二 |
| 教育総務課総務企画係長 | 松 下 美 紀 | | |

5 本会議に付した議題等

(1) 議題

議第40号 条例案に対する意見について

6 会議の概要

(1) 開会

石井教育長： ただ今から、令和5年第11回天草市教育委員会臨時会を開催する。傍聴人がいないことを確認する。

(2) 教育長報告

石井教育長： 2学期が8月29日から始まり、明日から幼稚園も始まる。始業式の出欠把握を行っているところである。子どもたちの活躍の様子だが、吹奏楽コンクール九州大会が熊本市で開催され、本渡北小と本渡中は金賞を受賞したが全国大会には届かなかった。頑張りに敬意を表したい。陸上でも本渡中の平道君がジュニアオリンピック陸上で2位、全国中学校総合体育大会で代表の平方君が3000メートルで8位入賞と頑張ってくれた。昨日は御所浦に行き、建設中の恐竜の島博物館と勇志国際高校を視察してきた。勇志国際高校は全国に1,900人くらいの生徒がおり、県内では600人、天草市内からも100人ほどいるそうである。全国では4人に1人は通信生とのことである。不登校やその他、プロアスリートを目指す子、転籍して通っている子もおり、進学先も東大や有名私立大学をはじめ、それぞれ色々な進路に進んでいるようだ。

(3) 議題

議第40号 条例案に対する意見について

石井教育長： 事務局より説明をお願いします。

本多教育総務課長： 現在、天草市議会定例会が開催されているが、中尾友二天草市議会議長から令和5年8月29日付け天議第279号で地方教育行政の組織及び運営に関する法律第23条第2項の地方公共団体の議会は前項の条例の制定又は改廃の議決をする前に当該地方公共団体の教育委員会の意見を聞かなければならないとの規定に基づき、意見を求められているため、提案するものである。内容としては、条例案議第71号天草市地方教育行政の組織及び運営に関する法律に基づく職務権限の特例に関する条例の一部を改正する条例

の制定について意見を求められているものである。今回、博物館法に基づく設置を予定している天草市御所浦恐竜の島博物館を職務権限の特例として、スポーツ及び文化に関することに加え、地方教育行政の組織及び運営に関する法律第 23 条第 1 項第 1 号に規定する特定社会教育機関として、その設置、管理及び廃止に関する事務を市長が管理し及び執行するため、条例を改正することへの意見についてである。

石井教育長： 委員から何か質問等はないか。

吉森委員： 手続きがスムーズにいくための提案であろうが、このような特例についての事例はこれまでもあったのか。

本多教育総務課長： 職務権限の特例として、これまでにスポーツに関することはスポーツ振興課で、文化に関することは文化課で行っている。それ以外に地方教育行政の組織及び運営に関する法律第 23 条の第 1 項で、図書館、博物館、公民館等は特定社会教育機関という位置づけで出来ることとなっており、今回、博物館法に基づく恐竜の島博物館として市長部局で取り扱うことになる。

木下委員： 視察研修で行ってみたい。

吉森委員： 他の市町村からの視察も増えるだろう。

行合委員： 館長はどのようになるか。

古川恐竜の島博物館推進室長： 白亜紀資料館は外部の館長であったが、今度は専門家の方に依頼を予定している。

行合委員： 棚底城跡の発掘工事もあっており、観光と一緒に構想を練ってほしい。日帰りツアーや地域活性化のための活動など、どのように構想されているか。

古川恐竜の島博物館推進室長： 御所浦から恐竜の化石が出て以来、恐竜の島として期待されている。庁内でもプロジェクトチームを作って連携している。離島で定期船があるが、海上タクシー等の充実も必要である。

行合委員： 観光と共に町全体の活性化にもつながると思う。色々と考えていただいているのをうれしく思う。

石井教育長： 中学校、小学校でも博物館を見ることは効果があると思う。

行合委員： 御船町はシンボルとしての恐竜博物館があるそうなので、天草市も世界遺産の崎津、恐竜博物館と観光ルートを広げることで天草の良さが共有されるのではないか。

石井教育長： 恐竜の化石が 1997 年に採取されて今に至るが、福井大学との共同で CT 等による研究が進んでいるとのことである。

委員の方からご質問、ご意見等ないか。なければ議第 40 号については承認してよろしいか。

(全員承認する)

7 その他

石井教育長： 教育委員又は事務局から何かないか。

木下委員： 熊本市の給食室にエアコンが設置されていないという新聞記事があった。7つの給食センターがあるが、エアコンのない調理室はあるのか。また、8月27日にフリースクールの天草下田南校が開校した。楠浦にも5月に別のフリースクールが開校しているが、2つのフリースクール等について、天草市は何か支援をしているのか。

平野教育部長： 給食センターのエアコンについては、本渡、牛深、栖本、有明は設置しているが、その他は調理場に設置していなかった。昨年、全部のセンターを見に行き、職員の意見を聞き、今年度、簡易式のスポット式クーラーを設置した。職員の意向を聞きながら改善は行っている。

木下委員： 調理室で働いている方の健康面は大丈夫か。新聞にはサウナ状態とも書いてあった。

平野教育部長： 夏の期間だけリースをするよう、今年度から対応をしている。調理には火を使うので、どうしても暑いことは避けられない。休憩時にクーラーにあたってもらおうようにしている。

また、フリースクールの支援については、下田南校については学校を貸しており、最初に協定を結んでいる。このような学校ができたという情報を学校に提供している。また、必要な生徒には情報が入るようにしている。補助金等は一切ない。楠浦については情報の共有はできていないが、各学校には情報提供を行っている。

行合委員： 熊本学習センター天草下田南校には3名の希望者があったそうで、活動の拠点となると思う。本渡には不登校の子たちが多いので、本渡校として9月に開校の動きがあるようだ。下田南校は不登校の子たちに自然を経験させるなどの必要性が高いのでは。

池崎委員： 不登校を悪いことのような形で捉えるといけないと思う。一番大事なのは、生徒がどう成長していくかを考えることである。それと先生方にも不登校の対処など色々な形で負担が大きいのではないか。子どもと保護者が一番良い形を作っていければいい。学校に通えないから苦しんでいる。決めつけすぎると負担が大きくなると思うので、教育委員会としてどうしていくのかは分けて考えていく必要がある。

行合委員： 不登校と言っても、いじめられて行けなくなった子、発達障害や病気で行けなくなった子、色々な要因がある。地域社会のかかわりが必要であり、学校に行かなければならないというのが今まであったが、子どもたちの心が弱かったり、家庭が貧困だったり、多様化しているので、先生が対応するのは本当に難しい状況だとつくづく感じる。それぞれの人が子どもたちに関わっていく中で、子どもの成長を促していくことが大事だと思う。

池崎委員： 何日間来ていないという数の把握は先生方が負担であると思う。間隔をあけて接することも大事だと思う。

石井教育長： 不登校には色々要因がある。いじめられての不登校は絶対にあってはならない。

8 閉会

石井教育長： 事務局から他に何かないか。なければ以上をもって、本日の会議を閉じる。大変お疲れさまでした。